

巻頭言

## 第2号に寄せて

明星聖子

国際編集文献学研究センターの機関誌『編集文献学研究』の第2号が、無事に刊行の運びとなった。今号の特集2つは、2023年度に本センターで開催された以下の2つの学術イベントの成果である。

2023年10月15日（日）成城大学3号館321教室

ハンス・ヴァルター・ガブラー氏講演会「愛の復活、そのゆくえ——今、ガブラー版『ユリシーズ』の意義を語る」

第一部：ガブラー版『ユリシーズ』入門ワークショップ

第二部：ハンス・ヴァルター・ガブラー氏講演 “Do you know what you are talking about?”

2023年12月3日（日）成城大学7号館007教室

イベント「生前の遺稿」

第一部：シンポジウム「生前の遺稿——エリアス・カネッティ×カズオ・イシグロ×大江健三郎」

第二部：ドゥルス・グリーンバイン氏講演「アーカイブの掌中で（In der Gewalt der Archive）」

講演原稿を当機関誌に掲載することを快く許諾してくれたハンス・ヴァルター・ガブラー氏、ドゥルス・グリーンバイン氏にこの場を借りて、心より感謝申し上げます。

昨年度は非常に活発にシンポジウム等を開催したが、本年度（2024年度）はセンター長である私が、9月よりサバティカルを取得してイギリスに滞在していることもあって、数としては少なめとなっている。以下、記録のために、今年度（前号の発刊後に開催した前年度分も含む）本センターで企画し開催した学術イベントをあげておく。

2024年3月12日（火）成城大学3号館321教室

シンポジウム「編集文献学の国際比較——ポーランド・台湾・ドイツ・日本」

2024年6月15日（土）成城大学8号館008教室

「シェイクスピア戯曲編集のプラクシス——大修館シェイクスピア双書 第2集／第2期出版記念イベント」

2024年7月15日（月）成城大学9号館グローバルラウンジ  
イベント「哲学を手稿とアーカイヴの視点から見る」

2024年12月21日（土）成城大学3号館322教室  
シンポジウム「ヘルダーリン後期詩の編集・翻訳プロジェクト——第三世代テキスト編集の試み」

上記の本センター主催の学術イベントについては、すべての開催報告を成城大学の本研究センターのHPに掲載している。ご関心のある方は、そちらを参照いただきたい。

2024年度はさらに、シュトゥットガルト大学（ドイツ）のハイパフォーマンスコンピューティングセンターと日本学術振興会ボン研究連絡センターとの共催での、日独学術コロキウムも控えている（2025年3月16日から19日）。「人工知能時代における人文学の未来」というテーマのもと、日独の人文学またコンピュータ・サイエンスの研究者たちがシュトゥットガルト大学に集い、最先端の知見をめぐって活発な議論を交わす予定である。

国際編集文献学研究センターは、これからも一層充実した活動を展開しながら、国内外における当該分野の普及と発展に寄与していく所存である。